

**製品名: NFATc2IP ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab14642**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	ヒト、ラット、マウス、魚
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:300
分子量	48kDa

**抗原情報**

遺伝子名	NFATC2IP NFATC2IP; NIP45; NFATC2-interacting protein; 45 kDa NF-AT-interacting protein; 45 kDa
別名	NFAT-interacting protein; Nuclear factor of activated T-cells; cytoplasmic 2-interacting protein
遺伝子 ID	84901.0
SwissProt ID	Q8NCF5
免疫原	抗血清はヒト NFATC2IP 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 151-200

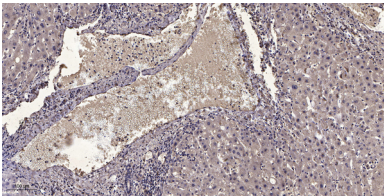
**背景**

機能:T細胞におけるサイトカイン遺伝子の誘導発現に関与し、特に NFAT 駆動性 IL-4 産生を増加させる。、PTM:PRMT1 による N 末端メチル化は、NFAT 複合体との相互作用を調節し、サイトカイン産生の増加をもたらす。、類似性:1つのユビキチン様ドメインを含む。、細胞内局在:TRAF1 は細胞質内の NFATC2IP の一部と関連し、核への移行を防ぐ。、サブユニット:NFATC2、TRAF1、TRAF2、および PRMT1 と相互作用する。、機能:T細胞におけるサイトカイン遺伝子の誘導発現に関与し、特に NFAT 駆動性 IL-4 産生を増加させる。、PTM:PRMT1 による N 末端メチル化は、NFAT 複合体との相互作用を調節し、サイトカイン産生の増加をもたらす。産生。、類似性:1つのユビキチン様ドメインを含む。、細胞内局在:TRAF1 は細胞質内の NFATC2IP の一部と結合し、核への移行を防ぐ。、サブユニット:NFATC2、TRAF1、TRAF2、および PRMT1 と相互作用する。、

## 研究分野

-

## 画像データ



パラフィン包埋ヒト肝癌の免疫組織化学分析。1、抗体を 1:200 に希釈した (4°Cで一晩)。2、抗原賦活化には Tris-EDTA、pH9.0 を使用した。3、二次抗体を 1:200 に希釈した (室温、45 分)。